

この本のとくちょう

『まるごと 日本のことばと文化』（『まるごと』）は JF 日本語教育スタンダードに準拠したコースブックです。『まるごと』には以下のような特徴があります。

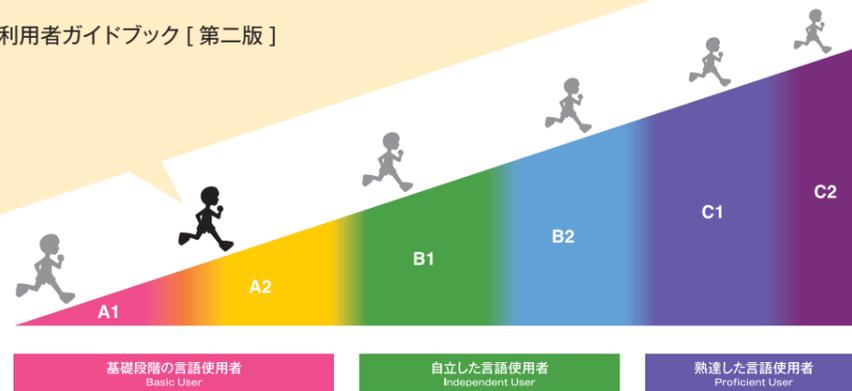
● JF 日本語教育スタンダードの日本語レベル

『まるごと』は JF 日本語教育スタンダードの 6 段階(A1-C2) でレベルを表しています。『まるごと』（初級2）は A2 レベルです。

A2 レベル

- ・ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。
- ・簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。
- ・自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。

JF日本語教育スタンダード 2010 利用者ガイドブック [第二版]



● 2つの『まるごと』：「かつどう」と「りかい」

『まるごと』は日本語を使ってコミュニケーションができるようになるために、「かつどう」と「りかい」の2つの学習方法を提案します。

「かつどう」：日本語をすぐに使ってみる人に

- ・日常場面でのコミュニケーションの実践力をつけることが目標です。
- ・日本語をたくさん聞き、話す練習をします。

「りかい」：日本語について知りたい人に

- ・コミュニケーションのために必要な日本語のしくみについて学ぶことが目標です。
- ・コミュニケーションの中で日本語がどう使われるか、体系的に学びます。

「かつどう」と「りかい」はどちらも主教材です。どちらを選ぶかは、学習目的によって決めてください。また、「かつどう」と「りかい」は同じトピックで書かれています。両方で学べば、総合的に日本語力をつけることができます。

● 異文化理解

『まるごと』は、ことばと文化を合わせて学ぶことを提案しています。会話の場面や内容、写真、イラストなど様々なところに異文化理解のヒントがあります。日本の文化について知り、自分自身の文化をふりかえて、考えを深めてください。

● 学習の自己管理

ことばの学習を続けるためには、自分の学習を自分で評価し、自分で管理することがとても重要です。ポートフォリオを使って、日本語や日本文化の学習を記録してください。ポートフォリオを見れば、自分の学習プロセスや成果がよくわかります。

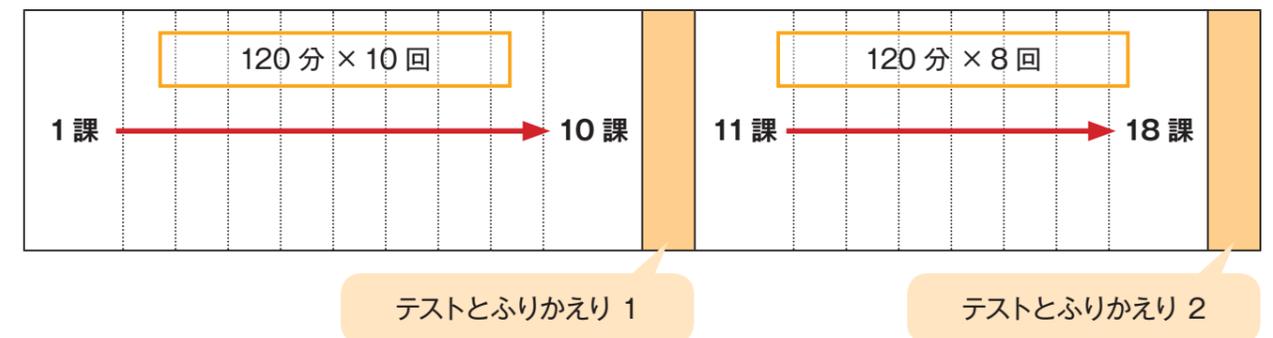


この本のつかいかた

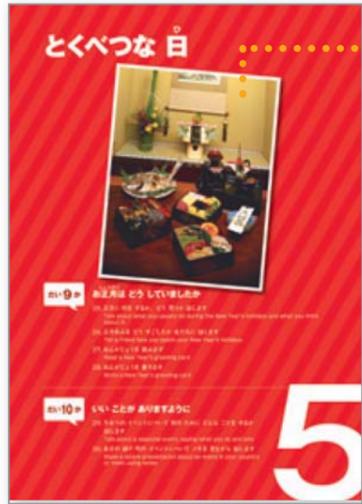
1 コースの流れ

『まるごと』（初級2 A2 かつどう）のコースは、コミュニケーションのための言語活動を中心に進めます。授業時間の目安は1課あたり120-180分で、コースの中間と終了時に「テストとふりかえり」をします。

コースの例：1回の授業（120分）で1課を学習する場合



2 トピックと課の流れ



目標を知る

1つのトピックに2つの課があります。写真を見て、どんなことをするのか話します。その課で何ができるようになるか Can-do を確認します。

聞く・気づく

 文脈／場面のある会話をたくさん聞きます。内容を理解すると同時に、会話の流れをつかみ、よく使われる表現に気づくことが大切です。

音声ファイル：URL → p9

見る・聞く・言ってみる

 音声を聞いて写真やイラストを指さしながら意味を確認します。また、小さい声で言ってみます。自分にとって必要なことを覚えましょう。

音声ファイル：URL → p9



わかりやすく、楽しく学習するために写真やイラストがたくさん使われています。

ルールを発見する

 会話で聞いて気づいた文の形と意味を整理し、どんなルールがあるか発見します。

ことばの形が書いてあります。練習のときに注意してください。

注意する語や表現



使ってみる

  (ききましょう) の会話の中にある表現を使って、ペアで話します。だ円形のふきだしは表現のバリエーションです。うまく言えなかったら、もう一度会話を聞いてみましょう。「かのまとめ」(p147-p157)の音声も利用できます。

Can-do チェック

 授業のあとで、Can-do ができたか自分でチェックして、コメントを書きます。Can-do チェック p180-p183 URL → p9

生活と文化

日本の生活と文化について、いろいろな写真を見ます。自分の国や自分自身と比較して、思ったことをクラスで話し合います。



アイコン

-  きいて いきましょう
-  ききましょう
-  Can-do をチェックしましょう
-  はっけんしましょう
-  ペアではなしましょう
-  おんせい
-  かきましょう
-  メモを見て言きましょう
-  ポートフォリオに いれましょう
-  よみましょう

「さん」はほかの人の名前の後ろにつける敬称です。(たなかさん)



3 異文化理解の活動

『まるごと』はことばと文化をいっしょに学ぶコースです。教室の外でも日本語を使ったり、日本文化を体験したりしましょう。

- ・ 日本のウェブサイトを見る
- ・ 日本のドラマや映画を見る
- ・ 日本料理のレストランに行ってみる
- ・ 日本関係のイベントに行ってみる
- ・ 日本人の友人や知り合いと話してみる

教室の外で体験したことをクラスの人と話してください。

4 学習の自己管理の方法

1) Can-do チェック

1つの課が終わったら、Can-do チェック (p180-p183) を見て、チェックします。自分の学習をふりかえて、コメントを書きます。コメントは何語で書いてもいいです。

課名	Can-do チェック	No.	レベル	コメント	備考
1	自己紹介をします。自己紹介の準備をします。	1	0-100		
2	自己紹介について詳しく話します。	2	0-100		
3	他人の服装について詳しく話します。	3	0-100		
4	他人の第一印象を話します。	4	0-100		
5	パーティーの人数を話します。	5	0-100		
6	メニューを読みます。	6	0-100		
7	レストランの推奨品について話します。	7	0-100		
8	他人の飲み物を話します。	8	0-100		
9	食事の注文を話します。	9	0-100		
10	食事の注文を話します。	10	0-100		
11	食事の注文を話します。	11	0-100		

コメントの例

- ・ 私の町にある日本料理のレストランに行ってみようと思った。
- ・ 日本人の友達に旅行のアドバイスができると思う。

2) ポートフォリオ

日本語と異文化理解の学習や体験を記録し、ふりかえるために、ポートフォリオには以下のようなものを入れます。

- ① Can-do チェック
- ② テスト
- ③ 日本語を使って自分で書いたもの (例 カード、プレゼンテーションのメモなど)
- ④ 日本語・日本文化の体験記録

5 テストについて

テストの方法と内容については、「テストとふりかえり」(p87-p88、p138-p139) を見てください。

6 関連情報

『まるごと』ポータルサイト <https://www.marugoto.jp/go.jp/>

以下の『まるごと』関連リソースをダウンロードしたり、学習支援サイトにアクセスしたりできます (無料)。

● 教科書といっしょに使う教材

- ・ 音声ファイル
- ・ 書くタスクのシート
- ・ ごいインデックス
- ・ ひょうげんインデックス
- ・ Can-do チェック

● 学習支援サイト

- ・ 「まるごと+ (プラス)」
- ・ 「まるごとのことば」

● 教師用リソース

